

S.H. 2022年卒 地域ボランティア養成コース

こんな学生時代を過ごしました

私の大学4年間は、多角的な経験で自分の価値観が豊かに広がった時間でした。挑戦してみたいことに飛び込むことをモットーに過ごしていました。多くの経験をさせていただいた中でも人生の大きな要素になっている3つの活動をご紹介します。

【①実習活動】実習リハーサルなど1年生から1週間ほぼジャージ生活だった日々が懐かしく感じています。実習活動の中心であった健康づくり講座は高齢者を大学に招くことや公民館に出向くなど直接的な関わりを持つことに加え、コロナ禍では動画を撮影してDVDとして配布したりと、さまざまな形で地域の方と繋がりを持つことができました。また仲間と夜通し講座のリハーサルや準備などを行った時間は信頼関係も深まった大切な思い出になっています。

【②カンボジア】10日間、地図にも記載がない村に滞在し地域の人や文化に触れ合い新しい世界観を感じることができました。日本の教育環境のありがたさや将来の選択肢が多くある自身の境遇に感謝し、経験からの吸収とチャレンジをすることを強く自覚するきっかけとなりました。

【③ゼミ活動】入学当初から熱望していた山本先生のゼミに所属し、車椅子ソフトボールを専攻したことは私の人生における大きな核となっています。パラスポーツの魅力と障がい者との関わり方に強く興味をもつ転機となりました。その後コロナ禍で活動が制限され思うように取り組めない時期もありましたが、山本先生から機会をいただき4年生の頃には初めて日本代表合宿のサポートに関わらせていただくこともできました。

これらの活動を通じ、私は地域に寄り添う姿勢や仲間と協働する楽しさ、そして新しい価値観を受け入れ自身を豊かにすることを学ぶことができました。大学4年間は、私の生き方の基盤をつくってくれたかけがえのない時間です。

卒業後こんなキャリアを歩んでいます

新卒でスポーツフィールドに入社して以来、体育会学生の就職支援と企業の採用コンサルティングに携わり、4年間一貫して「学生と企業双方の可能性を広げる」ことを軸にキャリアを築いてきました。現在はシニアコンサルタントとして、キャリアアドバイザーとリクルーティングアドバイザーの両面を担い、学生のキャリア形成支援から企業の採用戦略立案、就活イベントの企画運営まで幅広く担当しています。

特に、体育会学生特有の強みを言語化し、最適なキャリア選択へ導く支援にやりがいを感じており、就職後に活躍の報告をもらえることが大きなモチベーションとなっています。一方で企業側には、採用課題の整理から母集団形成、選考プロセスの改善提案まで踏み込み、企業の採用活動に伴走できる状態を追求してきました。

また、新規事業として大学部活動へのスポンサー締結にも取り組み、体育会学生の活動の幅を広げる事業や母校と連携して開催する大学コラボイベント企画などにも挑戦しています。チーム全体で思いを形にする一体感も、自身の成長を後押ししてきました。今後は、学生の人生の可能性を引き出す力強いサポートができるよう経験と知識をさらに蓄えつつ、組織内ではメンバー一人ひとりが強みをのびのび発揮できる伴走型リーダーを目指していきます。

現役生へのメッセージ

地域創生学群のみなさん、実習や部活、バイトなど多くの活動で忙しい日々だと思いますが、ひとつひとつの経験が自分の可能性を広げる大切な時間です。1日1回の小さな挑戦でも必ず自分の糧になると思います。また大学で出会う仲間や先生は人生の宝物になります。周りの支えを頼りながら、自分の強みを存分に活かして大学生活という特別な期間を全力で謳歌してください。心から応援しています。

(2025年11月30日執筆)



山本ゼミで車椅子ソフトボール大会に出場した時の写真。大学2年生から本格的にパラスポーツに関わり、競技の魅力に惹かれ選手から日本代表サポートや大会運営に携わるようになりました。



北九州市立大学の体育会学生限定イベントを学内にて開催した時の様子。母校への恩返しと発展を思い一緒に仕事をしたいという目標が叶いました。